

1954年、フィリピン野球の父と慕われたチャールズ・パーソンの呼び掛けでアジア野球連盟が結成され、これを記念して同年12月、日本、韓国、チャイニーズタイペイ、フィリピンの代表4チームが集い、マニラ・ホセ・リサル球場で第1回大会が行われている。

1983年第12回大会は、ロサンゼルスオリンピック予選を兼ねて行われ、以降、オリンピック前年大会はアジア枠2を巡って戦いの厳しさが増していった。1999年の第20回大会からは、プロ選手も参加。北京オリンピック予選を兼ねた2007年第24回大会の戦いぶりはまだ記憶に新しい。

今大会、日本チームが優勝すれば大会初の4連覇となる。地の利を活かして日本が偉業を成し遂げるのか、それともそれを阻止するチームが出てくるのか。節目となる第25回大会、また新たな歴史が刻まれる。

	開催都市	参加	順位
第1回 (1954年)	マニラ	4	優勝/フィリピン 2位/日本 3位/韓国
第2回 (1955年)	マニラ	4	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/韓国
第3回 (1959年)	東京	4	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第4回 (1962年)	台北	4	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/韓国
第5回 (1963年)	ソウル	4	優勝/韓国 2位/日本 3位/チャイニーズタイペイ
第6回 (1965年)	マニラ	4	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第7回 (1967年)	東京	4	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第8回 (1969年)	台北	4	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/フィリピン
第9回 (1971年)	ソウル	5	優勝/韓国 2位/日本 3位/フィリピン
第10回 (1973年)	マニラ	5	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第11回 (1975年)	ソウル	5	優勝/韓国 2位/日本 3位/オーストラリア
第12回 (1983年)	ソウル	5	同率優勝 (韓国、チャイニーズタイペイ、日本)
第13回 (1985年)	パース	5	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第14回 (1987年)	東京	7	優勝/チャイニーズタイペイ 2位/日本 3位/韓国
第15回 (1989年)	ソウル	7	同率優勝 (韓国、チャイニーズタイペイ、日本)
第16回 (1991年)	北京・天津	7	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/韓国
第17回 (1993年)	パース	7	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第18回 (1995年)	岡山	6	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ
第19回 (1997年)	台北	6	優勝/韓国 2位/日本 3位/チャイニーズタイペイ
第20回 (1999年)	ソウル	6	優勝/韓国 2位/日本 3位/チャイニーズタイペイ
第21回 (2001年)	台北	5	優勝/チャイニーズタイペイ 2位/韓国 3位/日本
第22回 (2003年)	札幌	7	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/韓国
第23回 (2005年)	宮崎	6	優勝/日本 2位/チャイニーズタイペイ 3位/中国
第24回 (2007年)	台北	4	優勝/日本 2位/韓国 3位/チャイニーズタイペイ